

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく
天塩川下流の減災に関する
取組方針（改訂案）について

令和3年6月

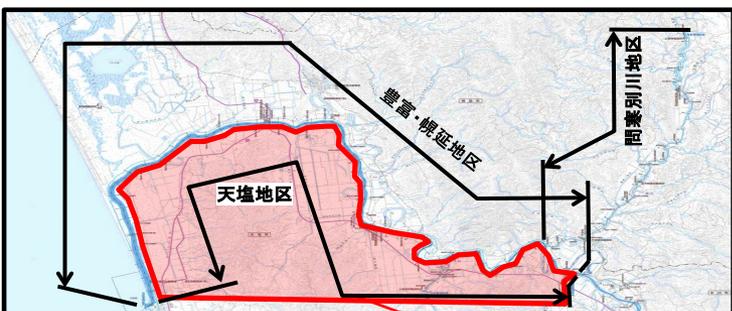
天塩川下流減災対策協議会

本資料は、令和3年度～令和7年度の
天塩川下流の減災に関する取組方針を
示した資料です。

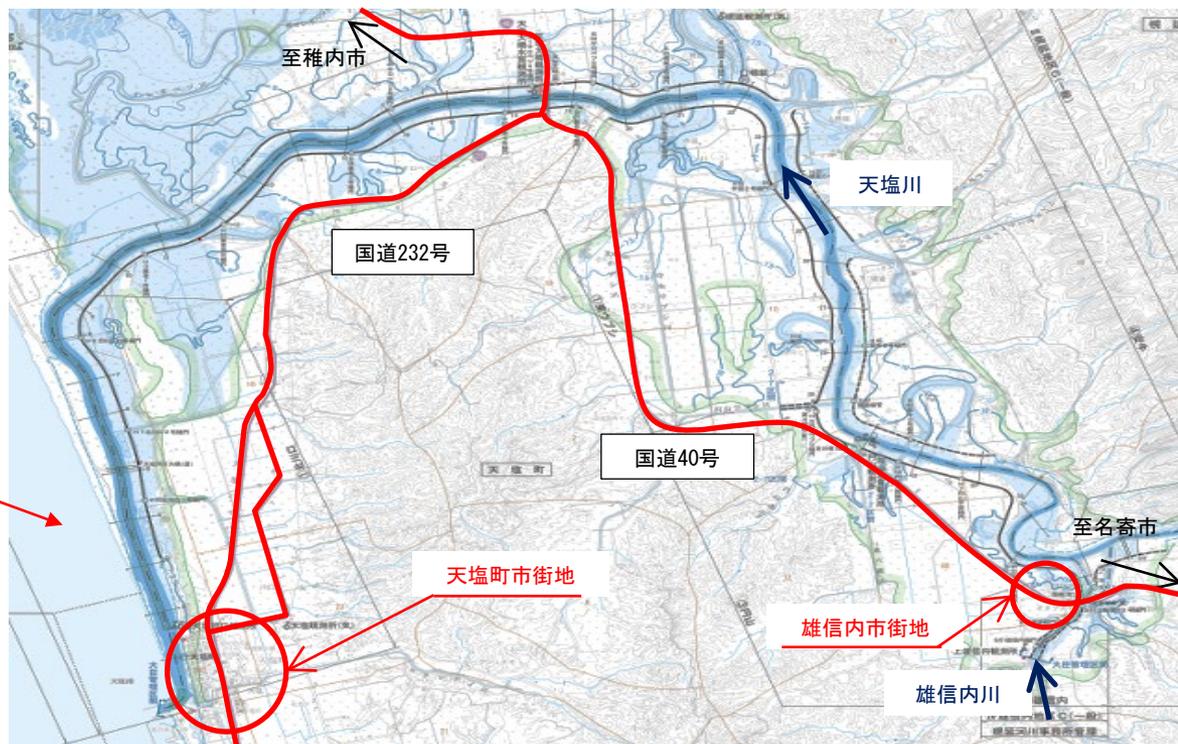
1. 天塩川下流の概要<天塩地区(天塩川左岸側)>

- ① 日本海側を通り札幌市への交通ルートとなる国道232号が天塩川と並走している。
- ② 名寄市を經由して旭川市、札幌市への交通ルートとなる国道40号が並走している。
- ③ 天塩川の河口付近には天塩町市街地が形成されている。
- ④ 天塩川と雄信内川の合流点には雄信内市街地が形成されている。

<天塩地区>



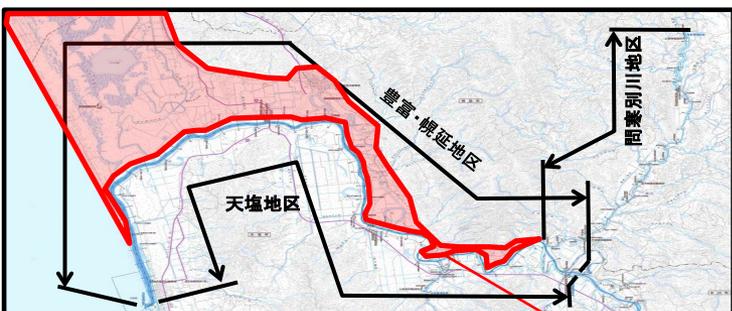
昭和56年洪水時の
浸水範囲



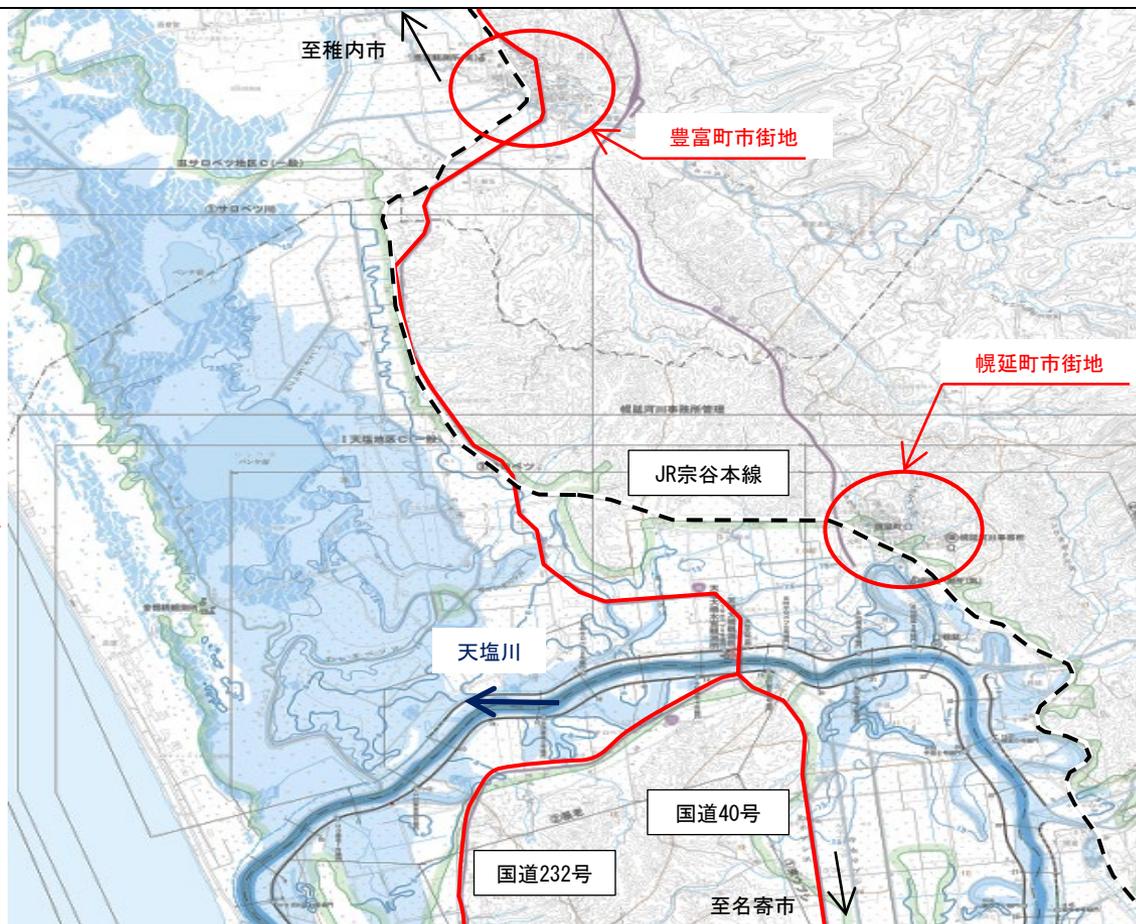
1. 天塩川下流の概要<豊富・幌延地区(天塩川右岸側)>

- ① 名寄市を經由して旭川市、札幌市への交通ルートとなる国道40号、JR宗谷本線がサロベツ川と並走している。
- ② サロベツ原野を流下することから浸水が広範囲に及ぶ。
- ③ 天塩川右岸には幌延町市街地が形成されている。
- ④ サロベツ川左岸には豊富町市街地が形成されている。

<豊富・幌延地区>



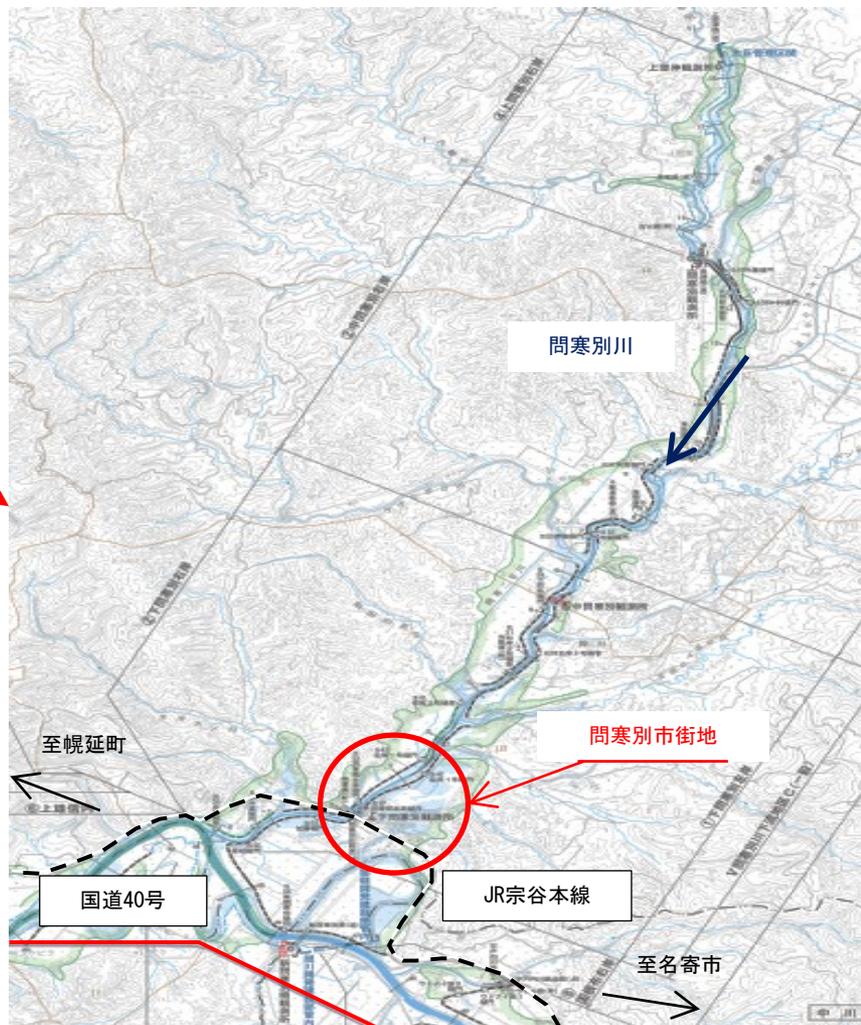
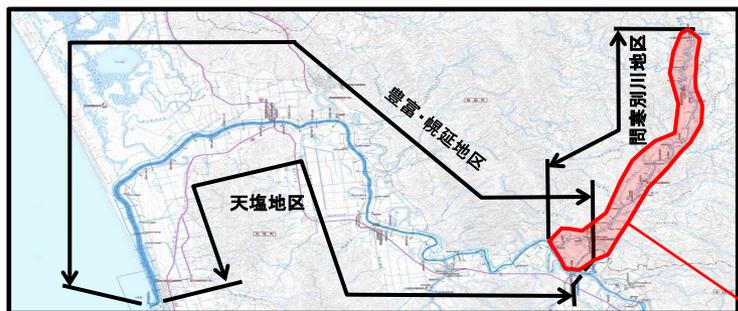
■ 昭和56年洪水時の浸水範囲



1. 天塩川下流の概要 <問寒別川地区>

- ① 名寄市を經由して旭川市、札幌市への交通ルートとなるJR宗谷本線が横断している。
- ② 問寒別川下流域には問寒別市街地が形成されている。

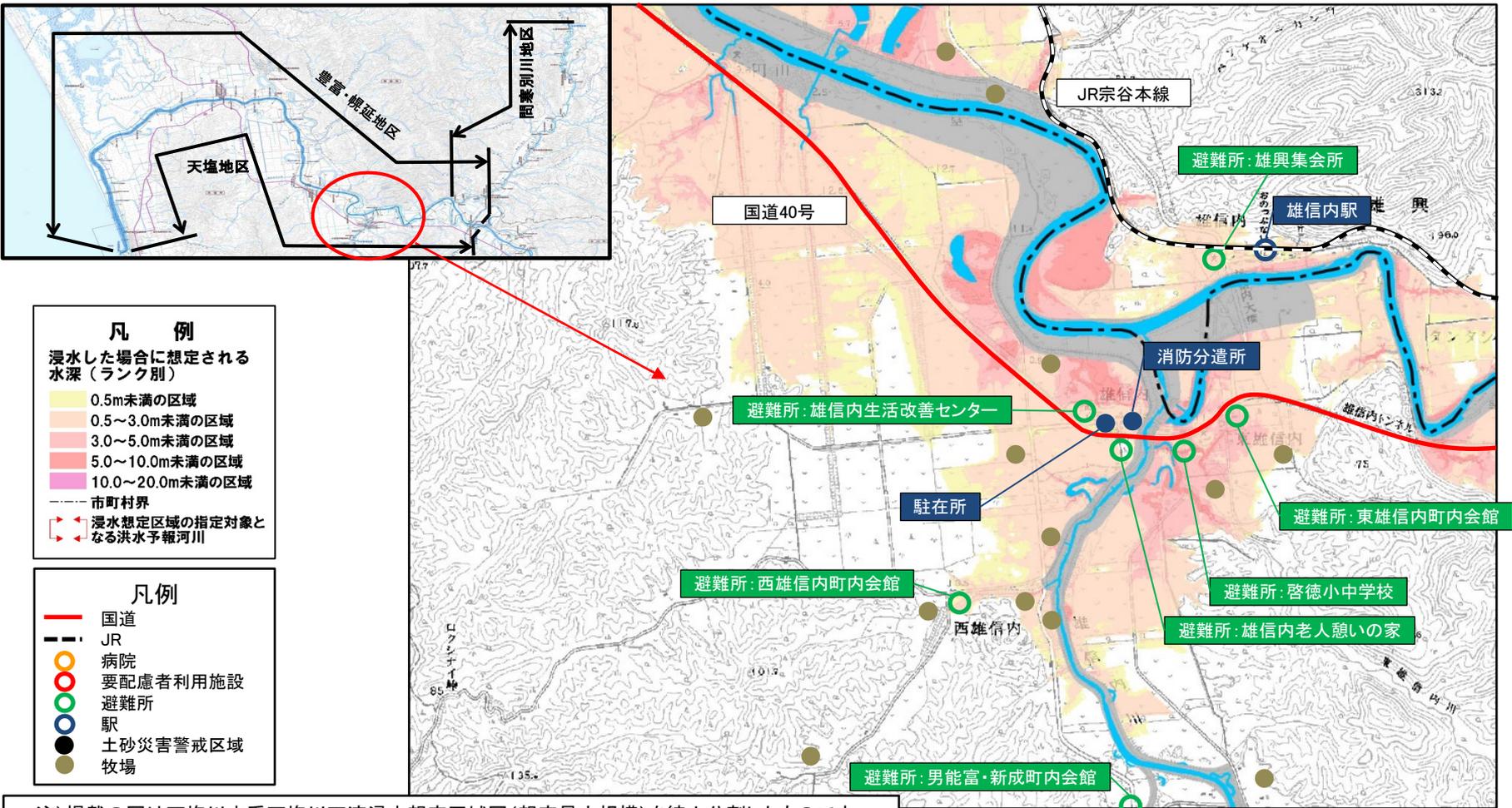
<問寒別川地区>



昭和56年洪水時の
浸水範囲

2. 天塩川下流の主な課題 <天塩地区(天塩川左岸側)>

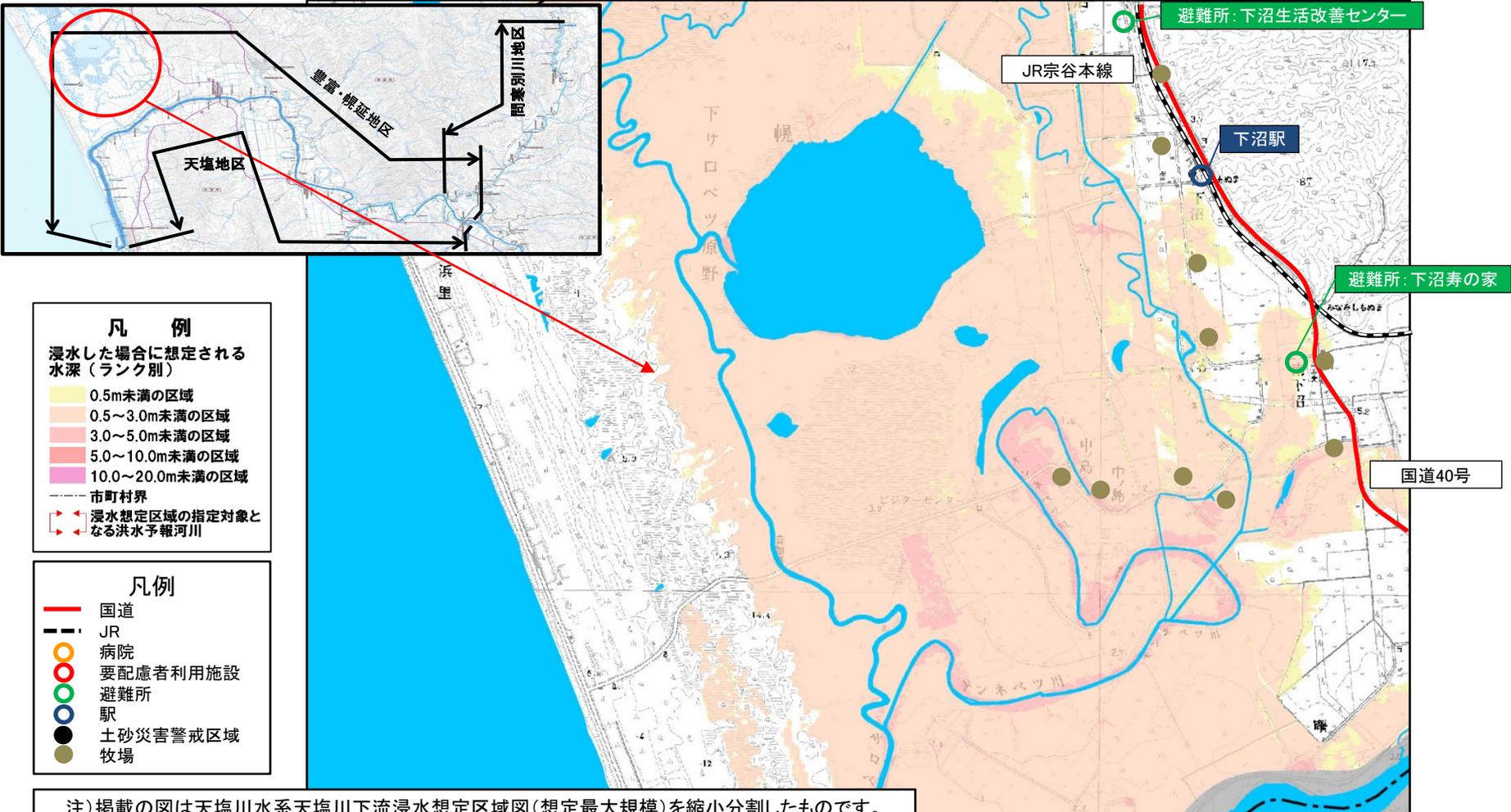
低平地では、住宅のみならず、複数の避難所等への浸水が想定され、かつ、国道40号をはじめとする避難経路が途絶するおそれがある。また、広域に分散する酪農施設への浸水が想定されるため、確実な避難情報の伝達と適切な避難経路・避難場所の設定が重要となる。



注) 掲載の図は天塩川水系天塩川下流浸水想定区域図(想定最大規模)を縮小分割したものです。

2. 天塩川下流の主な課題<豊富・幌延地区(天塩川右岸側)>

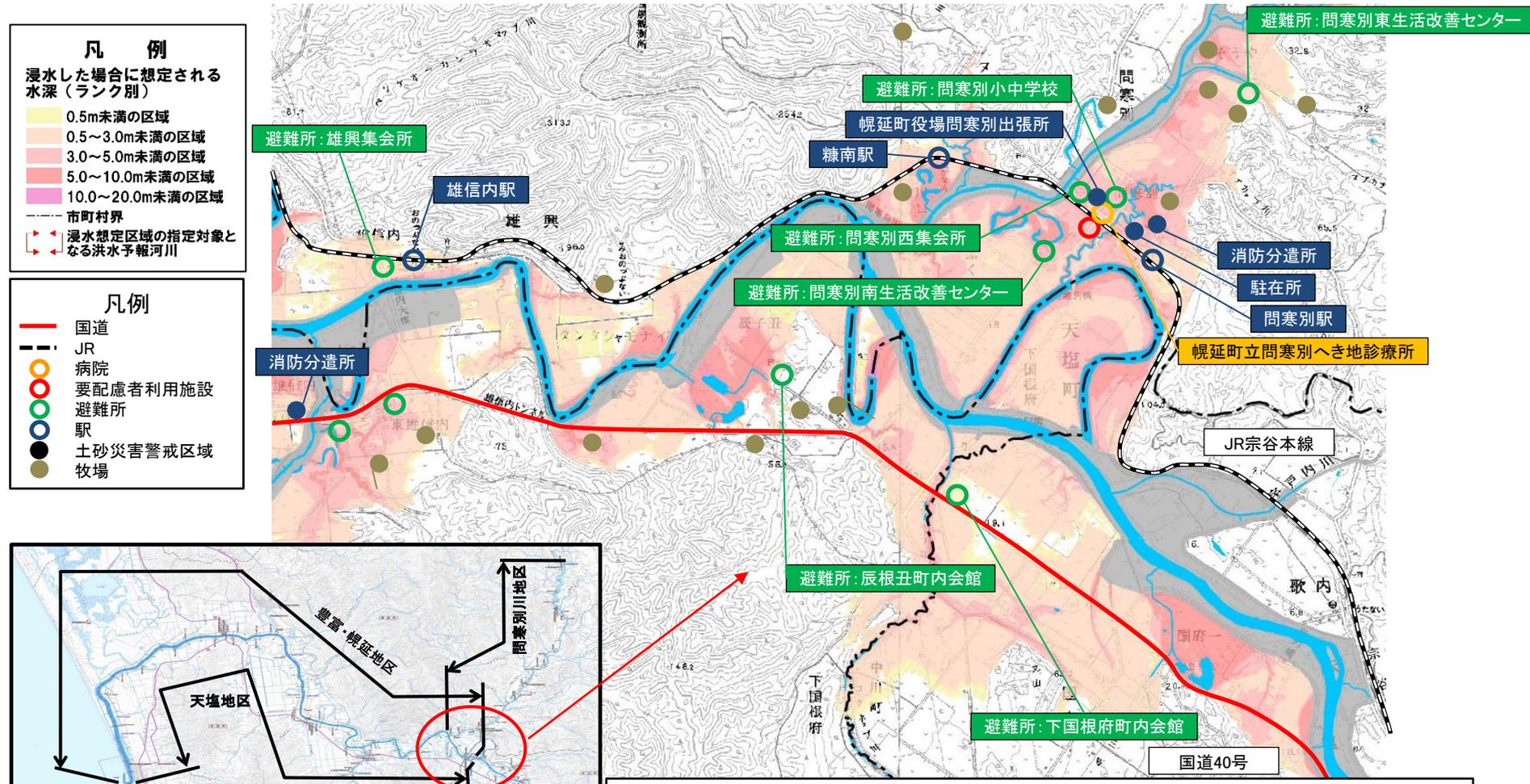
サロベツ原野が位置する低平地では、複数の避難所や町道等への浸水が想定され、避難経路が途絶するおそれがある。また広域に分散する酪農施設への浸水が想定されるため、確実な避難情報の伝達と適切な避難経路・避難場所の設定及び町・道路管理者との連携による今後整備予定の水防活動の拠点等の検討が重要となる。



注)掲載の図は天塩川水系天塩川下流浸水想定区域図(想定最大規模)を縮小分割したものです。

2. 天塩川下流の主な課題<問寒別川地区>

問寒別市街地が位置する低平地では、住宅のみならず、複数の避難所や町道、要配慮者利用施設及び病院等への浸水が想定され、避難経路が途絶するおそれがある。また、広域に分散する酪農施設への浸水が想定されるため、確実な避難情報の伝達と適切な避難経路・避難場所の設定が重要となる。



注)掲載の図は天塩川水系天塩川下流浸水想定区域図(想定最大規模)を縮小分割したものです。

3. 現状の取組状況

①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者等からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難指示等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導體制』

現状

- ・ 避難指示の発令の目安となる氾濫危険情報の発表等の洪水予報を気象台と共同で実施している。
- ・ 重大災害の発生のおそれがある場合には、留萌開建、北海道から天塩町長、豊富町長、幌延町長に対して情報伝達をしている。
- ・ 河川情報については、インターネット等を活用して入手している。
- ・ 被災情報や避難指示などの情報については、振興局及び町役場の災対本部等より入手している。

■天塩川下流洪水予報区間



課題

A

- ・ 洪水予報等の防災情報が受け手側にとってわかりにくいこともあり、防災情報の持つ意味や、防災情報を受けた場合の対応について住民等の認識が不十分であることが懸念される。

3. 現状の取組状況

①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者等からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難指示等の発令基準』、
『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導體制』

現状

- ・ 避難指示等の発令に着目したタイムラインを作成している。
- ・ 避難指示等の発令に関する内容を地域防災計画に記載し、その内容に基づき発令している。

課題

B

・ 避難指示等の発令に着目したタイムラインの運用実績が現時点では無いことから、訓練を通じた精度向上と合わせて、円滑な運用を可能とするために、各地域における避難指示等の発令タイミングや、避難情報の伝達方法を予め整理することが求められる。

C

・ 現行の地域防災計画には、水位に対応した避難指示等の発令基準や、発令対象地区が明確に記載されておらず、広域に分散する住民等への情報伝達の手法等が不十分であることが懸念される。

C'

・ 住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムラインの作成サポートを充実させる。

3. 現状の取組状況

①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者等からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難指示等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導體制』

現状

- ・ 防災マップ及びHPにおいて避難場所・一時避難所を周知している。
- ・ 令和2年12月公表の浸水想定区域図に基づきハザードマップの見直しを行っている。



まるごとまちごとハザードマップ設置状況



幌延町農業協同組合間寒別支所

課題

D

- ・ 浸水想定区域図等に記載された浸水深等の情報がリスクとして住民に理解されず、情報を受けた場合でも適切な行動に結びつかないことが懸念される。

E

- ・ 避難経路を指定していないため、いざという時に避難路が浸水しているなど、適切に行動できないことが懸念される。

F

- ・ 酪農施設等による広域分散型の土地利用が形成されている箇所では、浸水深の深い区域において避難が困難になることが懸念される。

G

- ・ 長時間・広範囲の国道・道道の浸水により、住民の避難や災害拠点病院への搬送等が困難となることが懸念される。

3. 現状の取組状況

①情報伝達、避難計画等に関する事項

『洪水時における河川管理者等からの情報提供等の内容及びタイミング』、『避難指示等の発令基準』、『避難場所、避難経路』、『住民等への情報伝達の体制や方法』、『避難誘導体制』

現状

- ・ 河川水位、洪水予報等の情報をHPやテレビを通じて伝達している。
 - ・ 避難に関する情報や避難の際の注意情報を、防災無線、広報車、農協のFAX・**エリアメール**等により情報伝達をしている。
 - ・ 消防計画や地域防災計画等に基づき、避難指示の住民への情報伝達を支援している。
- ・ 避難誘導は、地域防災計画において町職員、消防団等が実施するよう設定されている。

課題

H

- ・ 高气密性住宅が多いことに加え、風雨等の騒音等により、音声による情報の聞き取りが困難となることが懸念される。

I

- ・ 文字・水位情報ではわかりにくく、伝えたい情報が正しく伝わっていないことが懸念される。住民が広範囲に分散することや高齢化等から、伝えたい情報が一部の住民に確実に伝わっていないことが懸念される。（天塩町、豊富町、幌延町の高齢化率は3割）

J

- ・ 地域防災計画には、町職員、消防団等が適切かつ迅速に避難誘導を行うこととされており、迅速な活動のためにより連携が求められる。

3. 現状の取組状況

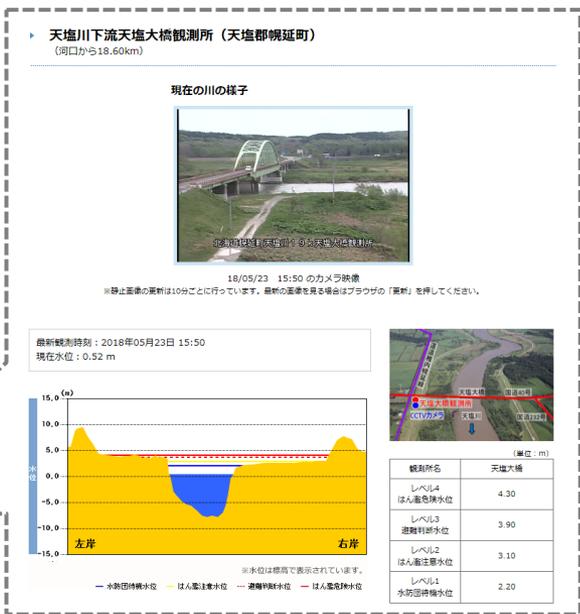
②水防に関する事項

『河川水位等に係る情報提供』、『河川巡視区間』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、『その他』

現状

- 河川水位、洪水予報、ライブ映像等の情報をHPやテレビを通じて伝達している。
- 基準観測所の水位に応じて水防警報を発表している。

国土交通省北海道開発局
河川リアルタイム情報



課題

K

- 河川水位、洪水予報、水防警報、重要水防箇所等の情報をどのように活用すべきなのか、個々の水防団員への周知が不十分である。

3. 現状の取組状況

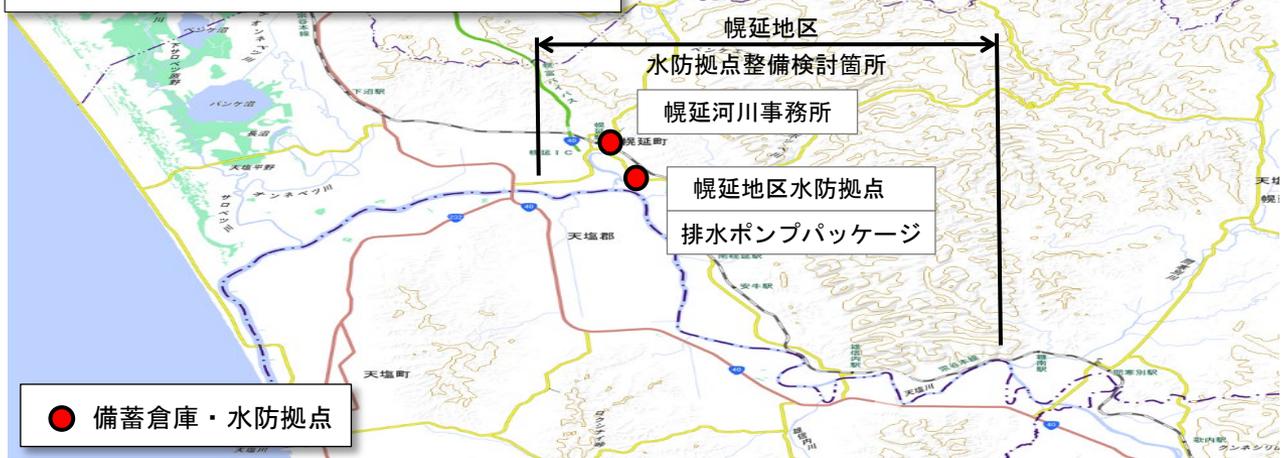
②水防に関する事項

『河川水位等に係る情報提供』、『河川巡視区間』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、『その他』

現状

- ・ 平常時に水防活動の効率化を図るため、住民、関係機関と水害リスクの高い箇所での合同巡視を実施し、出水時には水防団等と河川管理者がそれぞれ河川巡視を実施している。
- ・ 地域防災計画に基づき、出水時には水害の危険性の高い地域への巡視を実施。
- ・ 水防資機材は各関係機関で、事務所・水防拠点等に保有している。

排水ポンプパッケージ、資機材の配置状況図



課題

L

- ・ 住民を含む合同巡視が対象地区全てでは実施されておらず、リスク情報の周知が充分とはいえない。

M

- ・ 各関係機関の水防資機材保有状況を共有し、充実を図る必要がある。

3. 現状の取組状況

②水防に関する事項

『河川水位等に係る情報提供』、『河川巡視区間』、『水防資機材の整備状況』、『水防活動の実施体制』、『その他』

現状

- ・ 消防事務組合、建設協会等の関係機関と連携を図っている。
- ・ 関係機関と連携した水防活動の実施訓練を行っている。



課題

N

- ・ 水防活動に関する専門的な知識等を習得する機会が少ないこと、水防団員が減少傾向であることから、作業を的確にできないことが懸念される。

3. 現状の取組状況

③ 氾濫水の排水、施設運用等に関する事項

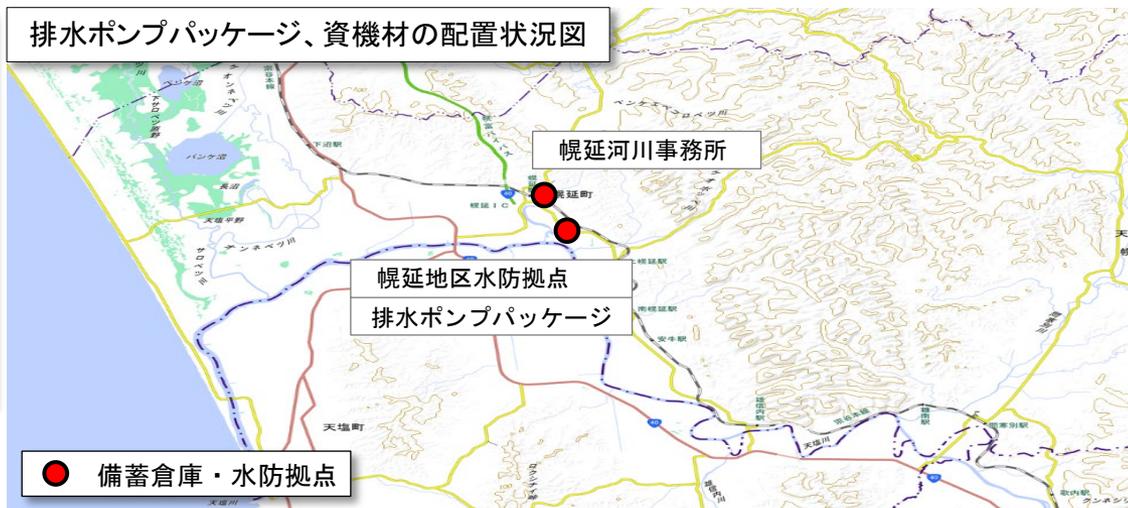
『排水施設、排水資機材の操作、運用』

現状

- ・ 関係機関が連携した排水訓練を実施している。
- ・ 保有する水防資機材は非常時においては水防団等への貸し出しが可能である。



関係機関と連携した排水訓練



課題

O

- ・ 大規模浸水時に早期に排水を行うため、既存の排水施設、排水系統を把握し、関係機関の連携による排水計画を検討する必要がある。

P

- ・ 広域的な資機材等の保有状況や、非常時における支援要請手順について、情報の共有が不十分である。

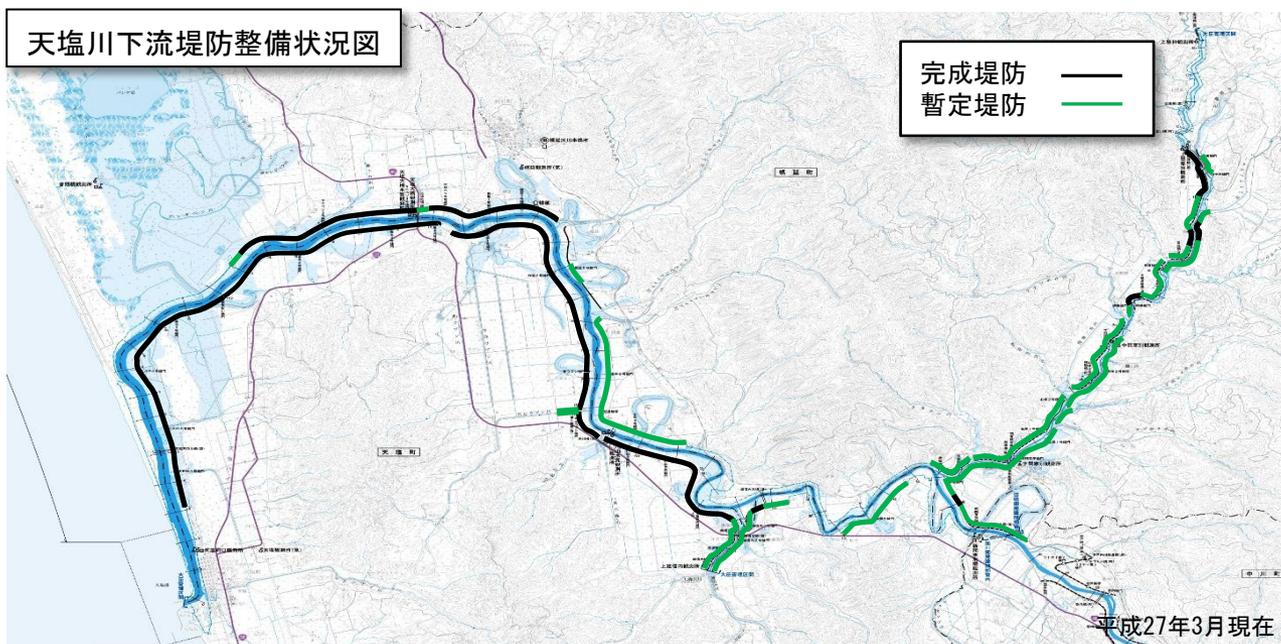
3. 現状の取組状況

④河川管理施設の整備に関する事項

『堤防等河川管理施設の現状の整備状況及び今後の整備内容』

現状

- ・ 計画断面に満たない堤防に対し、早期に嵩上げを実施するため、民家等が集中する地区から優先的に堤防整備を推進している。



課題

Q

- ・ 無堤地区や計画断面に対して高さや幅が不足している堤防があり、洪水により氾濫する恐れがある。
- ・ 洪水の越水や河岸の浸食により、堤防が決壊するおそれがある。

4. 減災のための目標

■ 5年間で達成すべき目標

天塩川下流の大規模水害に対し

「**確実な避難を目指す**」、「**長時間続く洪水から地域を守る**」

■ 上記目標達成に向けた2つの取組

天塩川下流において、水災害防止を目的として河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を河川内で安全に流す対策に加え、下記の取組を実施。

1. 広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた**確実な避難に関する取組**
2. 長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための**水防活動・復旧に関する取組**

5. 概ね5年で実施する取組

1) ハード対策の主な取組

■ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策 ■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

2) ソフト対策の主な取組

① 広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

- ・ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図・洪水氾濫危険区域図に基づき、避難経路途絶前の避難等を想定した避難場所・方法及び経路の見直しを行い、地域防災計画及びハザードマップへ反映
- ・ 町・道路管理者との連携により避難経路や今後整備予定の水防活動の拠点等を検討
- ・ タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上
- ・ 住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したタイムライン作成のサポートを充実させる（新規）
- ・ 各地域における避難指示等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法・伝達内容についての役場職員向けマニュアルの作成及び、地域防災計画の見直し
- ・ 農協等と連携して、広域に分散する酪農施設、また、高齢者における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進
- ・ 分かりやすい洪水予報伝文への改良
- ・ 気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善
- ・ 要配慮者利用施設における避難確保計画作成・訓練の実施（新規）

■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

- ・ 想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
- ・ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知
- ・ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまごまごハザードマップの作成と周知
- ・ 小学生を中心とした天塩川下流の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施
- ・ 関係機関の職員及び住民を対象とした防災教育や広域に分散する酪農施設への対応を踏まえた訓練の実施
- ・ 防災無線やホームページ等を活用した、住民の水防防災意識啓発のための広報の充実

② 長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害から地域を守るための水防活動・復旧に関する取組

■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

- ・ 毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施
- ・ 関係機関が連携した長時間、広範囲に及ぶ浸水を想定した水防訓練を継続実施
- ・ 迅速な水防活動を支援するため、長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害の状況を踏まえた、水防資機材が不足する地域に新たな保管場所を検討の上、充実を図る。
- ・ 的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ、水防団員数の確保を図る
- ・ 自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認

■ 拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項

- ・ 浸水想定区域内の拠点施設(病院等)に対し、水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進

■ 氾濫水の排水、施設運用等に関する取り組み

- ・ 想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成
- ・ 訓練を通じ、排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認

※下線は令和3年度改訂方針における追加項目・変更箇所

6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

■ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策

課題対応: 

○堤防整備等(雄信内地区等)【継続実施:留萌開発建設部、北海道】



6. 概ね5年で実施する取組～ハード対策

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

課題対応: **H** **I**

- 住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供のシステム構築 【継続実施: 留萌開発建設部、地方気象台】
- 洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築 【継続実施: 留萌開発建設部、地方気象台】
- 高齢者等に配慮し、防災ラジオなど様々な情報伝達手段の整備を検討し、現在行っている情報伝達手段と合わせて運用することにより、充実を図る。 【継続実施: 天塩町、豊富町、幌延町】

○水防拠点の整備(幌延地区)【継続実施: 留萌開発建設部】

課題対応: **M**

◆スマートフォンを活用した情報提供【地方気象台】

■ YouTubeによる緊急記者会見の生中継 (令和2年3月～)

気象庁自らYouTubeによる「緊急記者会見」の生中継を行うことで、より多く皆様に気象庁の危機感を伝えることができ、防災行動へ繋がることが期待される。

気象庁公式YouTubeチャンネルURL
<https://www.youtube.com/channel/UCajQ4ZQJrgwSxkF6xaCfrRw>



6. 概ね5年で実施する取組～川の水位情報(水位情報の閲覧)

国土交通省 川の防災情報 情報マルチモニタ

全国 北海道 東北 関東 北陸 中部 近畿 中国 四国 九州 沖縄 未登録

最新情報

全国の状況 その他の情報

ダム放流通知 レーダ雨量 (XRAIN) 気象情報・注意報、土砂災害警戒情報 河川カメラ(→全国のカメラへ)

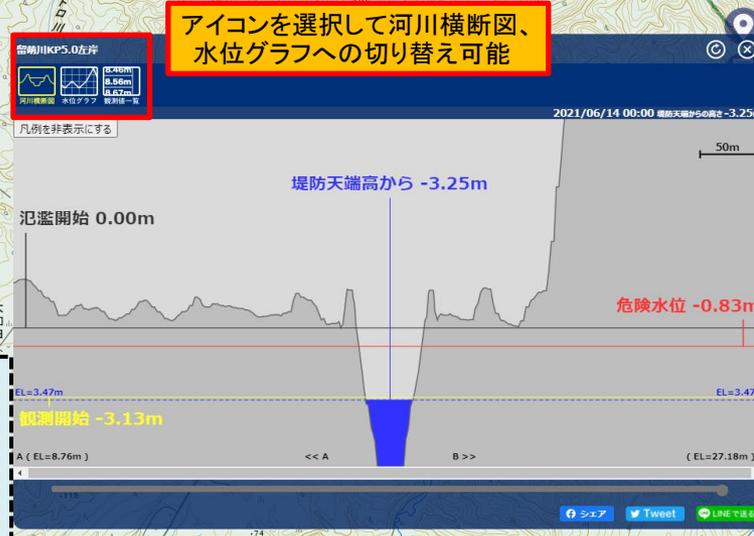
川の水位情報 洪水の危険性が高まっている河川 洪水予報、水位到達情報 洪水キキクル (危険度分布)

https://www.river.go.jp/portal/#80

課題対応: H I

水位計アイコンをクリック

拡大



【河川横断面図アイコン】
 アイコンを選択すると、河川横断面図が表示されます。河川部分に水面の位置と堤防天端高からの高さが表示されます。水面の位置は、青い点線で横断面図上に表示されますので、河川横断面図を左右にスクロールすると、付近の地盤高と水面の位置関係を確認出来ます。

6. 概ね5年で実施する取組～川の水位情報(河川カメラの閲覧)

課題対応: **H** **I**

<https://www.river.go.jp/portal/#80>



河川状況を静止画で確認することができます

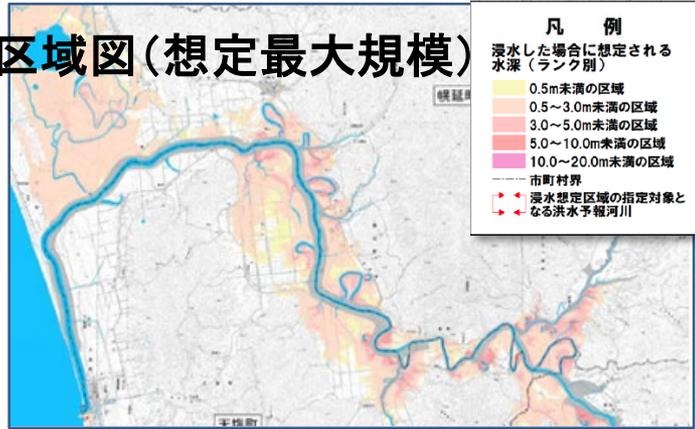


■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

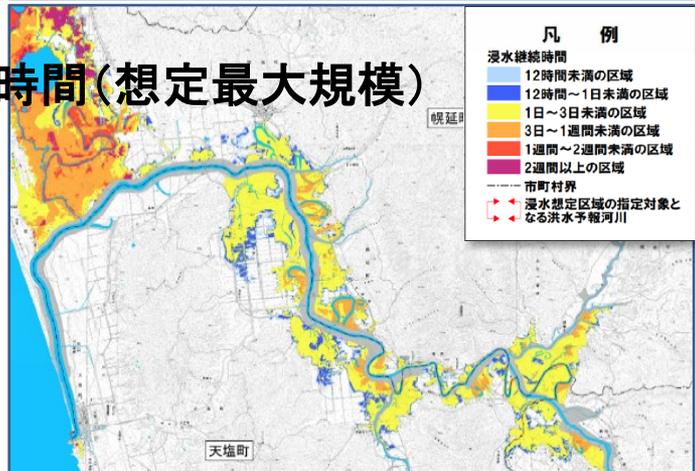
課題対応: **D** **E** **F** **G**

- 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図・洪水氾濫区域図に基づき、避難経路途絶前の避難等を想定した避難場所・方法及び経路の見直しを実施し、地域防災計画及びハザードマップへ反映
【継続実施: 天塩町、豊富町、幌延町】
- 町・道路管理者との連携により避難経路や今後整備予定の水防活動の拠点等を検討
【継続実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊】

浸水想定区域図(想定最大規模)



浸水継続時間(想定最大規模)



幌延町 防災マップ 洪水ハザードマップ (浸水想定区域図、土砂災害危険箇所図)

豊富町 (1/25,000) 洪水ハザードマップ① Toyotomi Town Flood Hazard Map

この図は、サロベツ川、漢川が大層が降って運動が滞るなどして氾濫した場合は、浸水が予想される区域と浸水の深さを示したものです。自分の住んでいる地区ごとの浸水深さを調べることも確認してください。

浸水深の目安 Indication of Inundation Depth

5.0m
3.0m
0.5m～3.0m未満(1階床上浸水)
1階床上浸水

災害情報・避難情報
 地震・津波
 風水害
 雪害
 火災
 土砂災害
 地域で助け合い
 応急手当
 連絡先一覧
 わが家の防災メモ

天塩町 保存版 防災のしおり

もしもの時に 備えましょう!

天塩町役場
 〒096-3399 北海道天塩町文部町新町1丁目
 TEL 01632-2-1001 FAX 01632-2-2659
 URL http://www.teshiotoon.com/

6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

○タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施及び精度向上
【継続実施：留萌開発建設部、地方気象台、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊、JR】

課題対応： **B** **C** **J**

○各地域における避難指示等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法及び伝達内容についての役場職員向けマニュアルの作成及び、地域防災計画の見直し
【継続実施：天塩町、豊富町、幌延町】

課題対応： **C'**

○住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる
【～令和7年度：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町】

課題対応： **C** **E** **F** **G**

○農協等と連携して、広域に分散する酪農施設、また、高齢者における水平避難のための時間や逃げ遅れ等により垂直避難となった場合等を考慮した避難場所等の確保・訓練等に関する取組を促進
【継続実施：留萌開発建設部、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊】

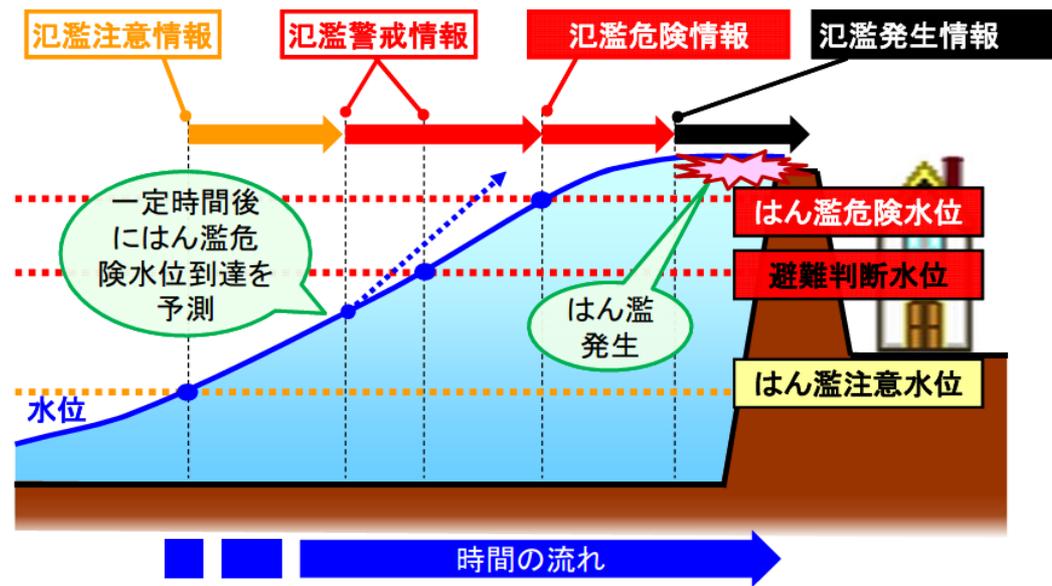
課題対応： **A**

○分かりやすい洪水予報伝文への改良 【継続実施：留萌開発建設部、地方気象台】
○気象情報発信時の「危険度」や「警報級の現象」の表示の改善 【継続実施：地方気象台】
○要配慮者利用施設における避難確保計画作成・訓練の実施
【～令和7年度：留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町】

■ 情報伝達、避難計画等に関する事項

課題対応: **A**

市町村や住民等に対し越水等に関する切迫度が伝わるよう洪水予報文を改良



洪水予報文(主文)の改良例

改良前

〇〇川では、氾濫危険水位(レベル4)に到達し、氾濫のおそれあり

〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市〇〇)では、〇〇日〇〇時〇〇分頃に、避難勧告等の発令の目安となる「氾濫危険水位(レベル4)」に到達しました。〇〇市、〇〇市、〇〇町では、〇〇川の堤防決壊等による氾濫により、浸水するおそれがあります。市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとって下さい。

改良後

【警戒レベル4相当情報[洪水]】〇〇川では、当分の間、氾濫危険水位付近の水位が続く見込み

【警戒レベル4相当】これは、避難指示の発令の目安です。〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市〇〇)では、当分の間、「氾濫危険水位」付近の水位が続く見込みです。〇〇川では堤防決壊等による氾濫のおそれがあり、〇〇市、〇〇市、〇〇町では浸水するおそれがあります。市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとって下さい。

■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応: D

- 想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
【～R3年度:北海道】
- 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知
【継続実施:天塩町、豊富町、幌延町、JR】
- 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたまるとまちごとハザードマップの作成と周知
【継続実施:天塩町、豊富町、幌延町】

課題対応: A D F I

- 小学生を中心とした天塩川下流の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施
【継続実施:留萌開発建設部、地方気象台、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊】
- 関係機関の職員及び住民を対象とした防災教育や広域に分散する酪農施設への対応を踏まえた訓練の実施
【継続実施:留萌開発建設部、地方気象台、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊、JR】
- 防災無線やHP等を活用した住民の水防災意識啓発のための広報の充実
【継続実施:留萌開発建設部、地方気象台、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警】

■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応: **A** **D** **F** **I**

○ 問寒別小中学校(小学4, 5年生)を対象に、大洪水の映像による災害の振り返りや幌延町の洪水ハザードマップによる浸水範囲や避難場所の確認及びマイ・タイムラインの作成などの防災教育を実施した。

令和2年度 天塩川下流(問寒別小中学校)での防災教育

目的: 天塩川下流における災害とその対策について調べ、生活に与える影響の大きさとともに、洪水に備える避難行動の必要性を学ぶことを目的とする。

実施期間: 令和2年10月20日(火) 5,6時限目

実施場所: 問寒別小中学校

主催: 留萌開発建設部 治水課

参加人数: 3人(小学4, 5年生)

実施内容: ① 近年の水害を踏まえ、児童自身が水害に遭う可能性があることを知る。
 ② 天塩川流域での水害を防ぐための施設や取組があることを学ぶ。
 ③ 水害から自分の命を守る行動(避難)をするために、日頃から備えや訓練をしておくことが大切なことを学ぶ。(マイ・タイムラインの作成)

防災教育の実施状況



幌延町洪水ハザードマップの説明



問寒別川のVR映像による避難場所の確認

項目	実施内容
近年の水害発生状況	かわたび 天塩川景観編《映像》 かわたび 天塩川アクティビティ編《映像》 松浦武二郎がたどった24日間の足跡 昭和63年8月留萌川大洪水災害記録《映像》 水害を防ぐための施設の確認 幌延町洪水ハザードマップによる避難場所の確認 問寒別川のVR映像による避難場所の確認
日頃からの備え	マイ・タイムラインで逃げ遅れゼロ《映像》 マイ・タイムラインの作成 備えておきたい防災グッズの説明 防災グッズを詰めたリュックの体験



マイ・タイムラインの作成



防災グッズを詰めたリュックの体験

■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応: **A** **D** **F** **I**

天塩町における取組み

一日防災学校におけるハザードマップの周知と避難所体験授業

○天塩小学校における一日防災学校の授業でハザードマップの説明と折りたたみ、ダンボールベッド、トイレの作成等の避難所体験を行った。また、パーテーション等を使用したコロナ感染対策における今後の避難所運営のあり方についても紹介した。



6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応: **A D F I**

◆ 市民に向けた防災教育（旭川地方気象台）

■ eラーニング教材「大雨のときにどう逃げる」(令和2年5月)

- 他人と接触せず学べる
- 専門家や経験者がいなくとも進められる内容
- 人数や実施形式に決まりなし
- WEB会議の開催・参加方法の説明資料あり



家族や身近な人とWEB会議で実施

みんなで集まって一緒に行うことも可能

◆ 市町村職員の防災対応力向上（旭川地方気象台）

■ 地方公共団体の職員を対象とする防災対応力の向上を図る取組

(令和2年11月)

防災気象情報の種類や意味を理解し、適切なタイミングでの防災体制の強化や避難に関する判断のポイントを学ぶことを目的に**気象防災ワークショップ**を開催。

実施日：令和2年11月20日(金)
 場所：名寄市民文化センター
 参加機関：名寄市職員
 参加人数：24名
 テーマ：中小河川洪水災害



6. 概ね5年で実施する取組～広域分散型の土地利用や、長時間続く洪水を踏まえた確実な避難に関する取組

■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応: **A** **D** **F** **I**

豊富町における取り組み

ハザードマップの改定後における防災講話

○ハザードマップの全面改定後における防災教育及び普段の備えについて教示



防災備蓄品の整備

○豊富町防災備蓄計画により備蓄品(食料・簡易トイレ等)購入



プライベート
テント



食料・飲料
水



広報誌等による防災情報の提供

○住民の水防意識啓発のため、広報の充実を図る
 ・令和2年4月から広報誌に計8回の防災情報を掲載
 ・豊富町HPに掲載



防災情報伝達手段の多重化

○防災情報の確実な伝達手段の取組の一環として、防災伝達手段多重化を推進

○内容
 戸別受信機(独居高齢者等)の設置及びエリアメールの開設

■防災情報伝達手段の多重化 → 迅速な情報伝達・避難
 全国瞬時警報システム(J-ALERT)と連動



■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応: **A** **D** **F** **I**

～HPを活用した広報活動～
広報とよとみ 5月号

防災時の情報について

町では、自然災害などのおそれが発生したときは、防災無線やSNS (Facebook、LINE) を通じて防災情報などを提供しており、下記ダイヤルでは防災無線の内容を確認することができます。

■ 確認用ダイヤル
☎82-1233 (放送日の当日限定)

北海道 豊富町
HOKKAIDO TOYOTOMI TOWN

HOME 豊富町について 町民のかたへ 事業者のかたへ ようこそ豊富町へ 各種の窓口

豊富町公式ソーシャルメディア

豊富町防災情報

- 緊急のお知らせ
 - 株式会社セコムと「災害時における高齢者生活費の供給等に関する協定」を締結
 - 災害対策本部に基づく指定緊急避難所及び指定避難所の指定について
 - 豊富町ハザードマップ 避難情報について エリアメール・緊急連絡メールについて
 - 避難所デジタル防災無線の機内及び避難所について 防災情報リンク
 - お問い合わせ・届出窓口
- 緊急のお知らせ

豊富町HP 防災情報

北海道天塩町 ▶ 防災情報

防災情報

ページ作成日: 2018年10月24日 ページ最終更新日: 2018年11月05日

天塩町では、過去に幾たびかの災害に見舞われてきましたが、過去の災害を経験している方も時が経つとともに災害の記憶が薄れていく傾向にあります。各種の災害を最小限にとどめるためには、何よりも町民の皆さんひとりひとりの十分な理解と備えが必要です。防災意識を高め、各種の災害に備えていただくために「天塩町防災のしおり」を作成しました。いざというときに備え。自宅や勤務先などから避難所までの経路や家族の連絡先などを書き込んで、使いやすい場所に保管しておきましょう。

- 天塩町防災のしおり (PDF)

天塩町ハザードマップ

- 天塩町津波浸水想定区域図・天塩町洪水時浸水想定区域図 (PDF)
- 天塩市街図 (PDF)
- 雄信内市街図 (PDF)

津波警報・注意報のサイレン音が試聴できます

津波の発生が予想される場合、気象庁から津波警報・注意報が発表されます。その際の津波警報等サイレン(ターン・サイレン)音を視聴しましたので、参考にしてください。

津波警報等のサイレンパターン

津波に注意しましょう

※地震を感じたら、海岸線からすぐに避難しましょう。

天塩町HP 防災情報

ほろのべの窓 4月号

気象台では、雪解けによって河川の増水し、洪水のおそれがあるときは『洪水注意報』や『洪水警報』を発表して注意を呼びかけます。また、気温の上昇や雨などによって雪解けが進み、土砂災害や浸水のおそれがあるときは『土砂災害注意報』を発表します。このほか、山の斜面でなだれが発生する可能性もあります。なだれのおそれがあるときは『なだれ注意報』を発表します。これらの注意報や警報などの防災気象情報は、テレビやラジオ、インターネットのほか、スマートフォンからも確認できます。防災気象情報を利用して春特有の気象災害から身を守りましょう。

※種内地方気象台ホームページ
https://www.jma-net.go.jp/wakkanai/index.html
お問い合わせ先: 種内地方気象台 電話: 0162-23-2679

春が近づき少しずつ暖かくなってきました。この時期は、雪だけでなく霜が降りる日もあります。雪解け水に雨水が加わると河川の水かさが増え、流れも急激に速くなります。また、雪が多く残っている場合は、河川が氾濫することもあり大変危険です。むやみに河川に近づかないようにしましょう。

ほろのべ

暮らしの情報

暮らしの情報

災害に備えて

防災

- 避難所地域防災計画について
- 避難所地域防災計画改定について
- 防災情報
- 防災ハザードマップ・浸水想定区域図
- 指定緊急避難場所と指定避難所、福祉避難所
- 避難所の防災拠点 (箇所) について
- エリアメール・緊急連絡メールのサービス提供開始について
- 水防住宅の耐震診断、耐震改修工事への補助制度
- 宅間防災・土砂災害対策について
- 特殊運行規制区域について
- 北海道地域防災マスターについて

幌延町HP 防災情報

■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応: **A** **D**

豊富町における取組み

水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた取組み

- 防災部局から高齢者福祉部局に対する減災対策協議会に関する情報提供の実施。
- 地域包括支援センターと「高齢者避難行動の理解促進に向けた協議」の継続的な実施。



ハザードマップ周知の継続

- 保健センター（地域包括支援センター）への継続的なハザードマップ掲示



■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

課題対応: **A** **D**

幌延町における取組み

～水害時の避難行動の理解促進に向けた取組～

防災備蓄品の整備

災害が起きた際に物資等の流通が途絶えて地域が孤立しても、避難所として炊き出し等に対応できるように、幌延町防災備蓄品計画に沿って食糧や避難所用の備品を購入しました。



Wi-Fi環境の整備

防災情報の伝達手段として、町内の避難所となる公共施設に、災害時でも安否確認や情報収集、家族との連絡等をストレスなく行うことができるよう、Wi-Fi環境の整備を行いました。



■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応: L

○毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施
【継続実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊、JR】

課題対応: J K N

○関係機関が連携した長時間、広範囲に及ぶ浸水を想定した水防訓練を継続実施
【継続実施: 留萌開発建設部、地方気象台、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊、JR】

課題対応: M

○迅速な水防活動を支援するため、長時間続く洪水、広範囲にわたる浸水被害の状況を踏まえ、水防資機材が不足する地域に新たな保管場所を検討の上、充実を図る
【継続実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、自衛隊】

課題対応: N

○的確な水防活動等を実施するため、リーフレットの配布やポスター掲示を通じ水防団員数の確保を図る
【継続実施: 天塩町、豊富町、幌延町、消防】

○自衛隊等の災害派遣要請に係る調整方法について確認
【継続実施: 留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、自衛隊】

6. 概ね5年で実施する取組～水害リスクが高い箇所について自治体と合同巡視を実施

■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応: **L**

目的: 関係機関との密接な連携を図り、洪水時に迅速かつ的確な水防活動を行うため、台風などの出水期前に重要水防箇所・危機管理型水位計箇所の合同巡視を実施しました。
また、樋門水位観測員・水防団が高齢化やなり手不足から深刻な状況になってきていることから、樋門開閉の自動化・水防団の募集方法等について意見交換を実施しました。

実施日: 令和元年7月2日 幌延町、北留萌消防組合消防署幌延支署、天塩町、幌延河川事務所

幌延町・北留萌消防合同巡視の実施状況



重要水防箇所について説明



重要水防箇所の整備状況を説明



意見交換

天塩町合同巡視の実施状況



堤防整備が進むことで重要水防箇所が解消



自動フラップゲートの樋門を説明

川の水位情報
（危機管理型水位計）
この水位観測所は
「天塩川K P 3 5・8 左岸」です

危機管理型水位計について
分かり易いようにQRコード表示



6. 概ね5年で実施する取組～北海道地区水防技術講習会を実施

■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応: **J** **K** **N**

- 留萌市、北海道及び国等からなる「留萌川減災対策協議会」並びに天塩町、豊富町、幌延町、北海道及び国等からなる「天塩川下流減災対策協議会」で検討された減災に関する取り組み方針に基づき、水防技術講習会を実施。
- 本講習会では、災害に関する情報伝達や気象情報の活用について講義を行うとともに、水防専門家の指導の下、ロープワーク、土のう製作、木流し工をはじめとした各種水防工法の実技講習を行いました。

令和元年度 北海道地区水防技術講習会 概要

目的: 出水時における水防活動が円滑に実施されるよう、水防団員の水防技術の向上及び伝承を図るため、特に技術面に主眼をおいた講習会を実施し、水防の技術的リーダーを組織的に育成する

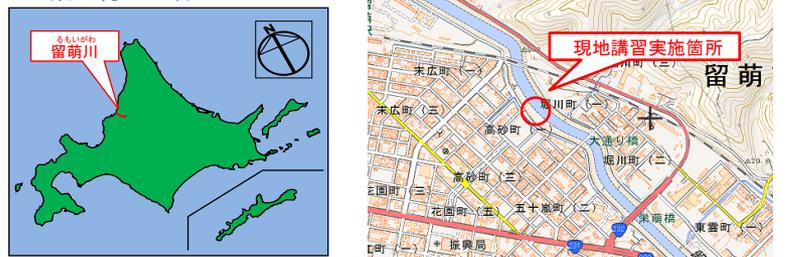
実施日: 令和元年7月17日(水)

実施場所: 留萌合同庁舎2F講堂、留萌川KP2.2左岸(高砂公園地先)

主催: 北海道開発局、北海道

参加機関: 留萌市、天塩町、豊富町、留萌消防組合、北留萌消防組合、増毛町消防本部、留萌建設協会、旭川地方気象台、留萌振興局、北海道開発局

参加人数: 約80名



水防技術講習会実施状況



講義の状況



水防専門家による指導状況



土のう製作実習



木流し工法実習

開催地代表挨拶



中西留萌市長による開催地代表挨拶

災害対策用機械の紹介



留萌開発建設部に配備されている排水ポンプ車の説明を行うとともに、排水作業の実演を行った。



シート張り工法実習



積土のう工法実習

水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

課題対応: **M**

水防資機材の保有状況の共有

国土交通省 北海道開発局 防災情報共有システム

緊急情報: 地震情報なし, 津波情報なし

凡例: 防災資機材 (● 開発局, ◆ 道・自治体, ■ 民間)

リンク: 防災インターネット初期メニュー, 石狩川下流域防災情報メニュー



防災資機材(一覧) 操作手順

地域: 留明 市町村: 留明市 機関: 留明開発建設部 留明開発事務所

用途: -- 区分: -- 更新 貸与手続
分類: -- 種別: -- CSV作成 全道一括CSV 地域CSV

チェック	分類	種別	規格	単位	数量	備考
<input type="checkbox"/>	ケーブル類	コードリール	30m	個	10	
<input type="checkbox"/>	シート類	ブルーシート	#3000 3.6×5.4m	枚	110	東雲水防所
<input type="checkbox"/>	シート類	ブルーシート	3.6m×5.4m	枚	100	
<input type="checkbox"/>	シート類	防水シート	3.6m×5.4m	枚	130	
<input type="checkbox"/>	トイレ	トイレ用テント	1人用	張	2	
<input type="checkbox"/>	トイレ	携帯トイレ・排便袋	排便袋	枚	2000	
<input type="checkbox"/>	トイレ	携帯トイレ・排便袋	携帯トイレ	個	200	
<input type="checkbox"/>	トイレ	簡易トイレ	トイレ用便座 洋式	台	2	
<input type="checkbox"/>	ボート類	エアボート		艇	1	

防災資機材(一覧) 操作手順

地域: 留明 市町村: 幌延町 機関: 留明開発建設部 幌延河川事務所

用途: -- 区分: -- 更新 貸与手続
分類: -- 種別: -- CSV作成 全道一括CSV 地域CSV

チェック	分類	種別	規格	単位	数量	備考
<input type="checkbox"/>	ごはん・米類	アルファ米	えびピラフ260g外	食	110	
<input type="checkbox"/>	ごはん・米類	レトルトパック	カレーライス外	食	120	
<input type="checkbox"/>	スープ・汁物	汁缶	みそ汁	食	10	みそ汁160g
<input type="checkbox"/>	スープ・汁物	汁缶	スープ缶	食	20	
<input type="checkbox"/>	スープ・汁物	汁缶	フルーツ缶	食	34	
<input type="checkbox"/>	パン類	パンの缶詰	カンパン及び保存パン	食	164	
<input type="checkbox"/>	ポンプ機材	排水ポンプパッケージ	10m3/min	セット	1	
<input type="checkbox"/>	保安用品	ロープ	100m	巻	1	
<input type="checkbox"/>	土木用資材	アンカーピン	麻袋用 φ16mm L=120cm ~160cm	本	2043	

■ 拠点施設等の自衛水防の推進に関する事項

課題対応: **D** **E**

- 浸水想定区域内の拠点施設(病院等)に対し、水害リスクについての情報共有を図り、耐水化を促進
【継続実施:天塩町、豊富町、幌延町、消防】

■ 氾濫水の排水、施設運用等に関する取組

課題対応: **G** **O** **P**

- 想定最大規模の洪水を想定し、資機材の配置・搬入経路・排水ルート等を考慮した排水計画を作成
【継続実施:留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、道警、自衛隊】
- 訓練を通じ、排水ポンプ車等の災対車の出動要請に係る関係機関との調整方法について確認
【継続実施:留萌開発建設部、北海道、天塩町、豊富町、幌延町、消防、自衛隊】

■ 氾濫水の排水、施設運用等に関する取組

課題対応: **G O P**

天塩川下流 排水作業準備計画
ハンドブック(案)

【全体編】



令和2年3月

留萌開発建設部

